



現 在建設が始まっている施設の概要として
は、まずは3階建てというのが大きな違いかも
りません。プライバシーや利便性を考え
ると個室化をするのは当然として、しかしそ
うなると部屋数が増えて廊下の長さが大変に
観点からお聞かせ下さい。」

中岳の人からも、何の心配も無い旅館だ
というお話を頂いたりもしました。移転先で
ある藏本郷の地域の方々には不安もあること
だとは思いますが、そのようにして連絡や引
き継ぎをして下さる方々の協力があることが、
何より嬉しい事でした。

それでも数年にわたって関係者や県などに相談をしていました。何かいい方法が無いかと模索しているうちに、補正の予算の枠がひょっとすると通るかもしれないということになりました。駄目もどという感じと、通らなくても自力で何とかするしかないと追いつめられた気持ちもあって申請をし、ようやく助成金を頂くという話になりました。まるで宝くじに当たったような幸運だったと今でもありがとうございます。

し、元の建物を壊して新たな建物を建てると
いうようなことになると、かえって資金を要
するという現実的な選択がありました。また、
利用しておられる方々のご家族においても、
高齢化が進んでなかなか山奥までは面会に来
られないというお話を常々聞いておりまし
た。思い切って駅に近い場所に土地が手に入
るということになり、これもまた新たな縁が
生まれたように感じております。地域の説明
会などや現在の施設見学なども実施したこと

結果的に高齢化も進み、国の制度も変わり、作業としての生産活動は続けながら、生活介護を中心とする現在の姿に変わりました。中身はかなりの変化を遂げていますが、建物は開設当初から変わりません。建設の基準に違反している訳ではありませんが、なにぶん昭和の時代の基準で建てられたもので、言葉は悪いかもしませんが、だましだまし改築などを繰り返しながら利用してきたとう事もあります。

の生活水準を参考にしながら、利用される皆さんの安全性を向上させる事を念頭に置いています。

～移転にあたって、何かお伝えしたい事があればお願ひします～

現在の施設の場所である中岳という地区には、長らくお世話になつてゐることもあって、かなりうちとけた関係を築けてゐるものと考えております。移転するにあたっては、寂しさもあるあるのですが、仮の宿舎を建築

せっかく福祉をやるのだったら、現実に一番困っておられる方の助けにならなければ意味がないと、方針をすっかり変えてしまったと言います。設立当初は大変に苦労したそうで、やはり難しい現実があるから、難しい問題として残っていたということであり、そう簡単に上手く行くことでは無かつたのです。

伸びてしまします。平屋建てだと移動するだけで一苦労というだけでなく、土地の形状の物理的な問題もあります。むしろ3階建構造というのは非常に合理的な配慮の結果なのです。



5月8日 大村ショッピング
&食事会

日中活動紹介

エンジョイタイムとは外出支援のことです。

●4月2日 野岳公園 日中活動の一環として、「外出支援」を個別に行っております。上半期の活動を少し紹介します。

のドライブ&散策！

桜の下で はいiceps!

左側の写真は、高齢者の方々が公園で自転車に乗っている様子。右側の写真は、高齢者の方が花束を持った笑顔。下部には大きな桜の花のイラストがあります。

● 5月9日 長崎市 夢彩都
食事や、買い物を楽しまれました。

やっぱり、お出かけ1番！

外食、久しぶり～

これにしようかな～

帰りにみんなでパチリ！

いい天気♪

アイスもうまかあ～

お土産買つたよ～

もう食べれん！

● 5月18日
食事に出かけ、帰りに「シュシュ」
(地元で有名な農産品直売所)でアイス
クリームをおいしく
頂かれました。

は引つ越しをすることになると思います。なにぶん大所帯なので、しっかり計画を立て実行しなくてはなりません。多くの人の協力を仰ぐことになるかとは思いますが、是非ご理解を頂きたいと思います。

最初は使い勝手に慣れるまで戸惑いもあるかとは思いますが、基本的には現在の設備よりも新しく安全で使いやすい工夫を施しています。また外出などの地域の利便性もずいぶん高まると考えられます。先ずは移転に集中して生活を充実させることに専念しますが、徐々に新たな試みに取り組んたな楽しみに取り組ん

で行きたいと思います。皆さんの楽しみにしているような期

きるようになるように

待がどんどん実現で